

人材育成コーディネーター挨拶

人材育成コーディネーター 野口 潤次郎

今般のグローバルCOE（GCOE）の大きな柱として、高度な知識・研究経験を修め博士の学位を持つ人材を社会の各層に供給するという目的が掲げられています。戦後の初めての教育改革と呼ばれた大学院改革の最終目的が、ある意味でここで再度掲げられているとも見られます。本研究科として今回採択されたGCOEプログラム「数学新展開の研究教育拠点」では、この目的のためにサブリーダーが人材育成コーディネーターとしてその任に当たります。

初年度は、まずは体制作りから始めることとし、五人の委員からなる「GCOE人材育成委員会」を設けました。来年度に向け新しい授業科目として「社会数理特別講義」を設置すべく準備中です。内容は、官公庁、民間の会社など社会の色々な局面で数学又は数理科学を使って仕事をしているの方々によるオムニバス講義です。実際に活躍中の方々の話を、博士課程を中心として院生が聴講することによりより広い識見を身につけるようにすることが目的です。今年度は、未だ授業の制度ができていませんので「社会数理講演シリーズ」として実施中です。基本的に1ユニットは2つの講演（講義と同じく90分）からなり、半年で7ユニット14の講演が行われます。来年度には、正式の授業として2単位の単位が受講生には与えられる計画です。

また、GCOE研究支援員として採用された博士後期課程の院生は、積極的に本プログラムの活動に参画し、授業補助を通して教育の実経験を積み、各種セミナーを自主的に開催するなどの活動をとおして本プログラムの一翼を担います。

本研究科では、毎年20名以上の博士取得者を世の中へ出していますが、これら高度な知識と研究能力を持つ人材が、大学などの高等教育研究機関だけでなく、より広い社会の中でその適性を生かして活躍する社会を目指し、努力する所存であり、これが他でもなく今般の大きな予算処置をいただいたGCOEプログラムからの負託に応えることと考えています。